

2020年7月9日



## 2020年夏季 東・西 東京都高等学校野球大会 東・西“準決勝”・“決勝”と“東西対抗戦”を生中継

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)は、7月18日より開催される『2020年夏季 東・西 東京都高等学校野球大会』の東・西“準決勝”・“決勝”、東西の優勝校による“東西対抗戦”を生中継いたします。

今大会は、『第102回全国高校野球選手権大会』中止を受け、東京都高等学校野球連盟が独自に主催・開催するもので、各試合は無観客にて行われます。

なお、番組は、スマートフォン用アプリ/Web サイト『エムキャス』(<https://s.mxtv.jp/mcas/>)でも同時配信。日本全国(※一部地域除く)でご覧いただくことができます。ぜひ、球児たちの熱戦を生中継でご覧ください。

◆番組概要 ※雨天等により休止・順延の可能性があります。予めご了承ください。

【番組名】 未来につなげる夏。2020年夏季 東・西 東京都高等学校野球大会

【放送日時】

西・準決勝	8月5日(水)	9:59~16:00 (TOKYO MX1) 16:00~17:00 (TOKYO MX2)	生中継
東・準決勝	8月6日(木)	9:59~16:00 (TOKYO MX1) 16:00~17:00 (TOKYO MX2)	生中継
西・決勝	8月7日(金)	9:59~13:30 (TOKYO MX1)	生中継
東・決勝	8月8日(土)	9:59~13:00 (TOKYO MX1) 13:00~14:00 (TOKYO MX2)	生中継
東西対抗戦	8月10日(月・祝)	11:55~15:00 (TOKYO MX1) 15:00~16:00 (TOKYO MX2)	生中継

【公式 HP】 <https://s.mxtv.jp/sports/koukou/>

【公式 Twitter】 [@mxkoukouyakyu](https://twitter.com/mxkoukouyakyu) 【#MX 高校野球】をつけて応援しよう!!

また、7月13日(月)から大会期間終了まで、月~金曜20:56~21:00『TOKYO MX NEWS』枠を『TOKYO MX NEWS 高校野球ハイライト』として編成し、注目試合や大会結果等、高校野球にまつわる情報をお伝えします。

## 今年のテーマソングは NEWS「Endless Summer」に決定!!



今年の高校野球中継のテーマソングは、NEWSの「Endless Summer」に決定しました。この楽曲は、2010年にリリースされた、ファンからも愛される名曲。“夢に夢見た季節”、“輝く自分を探す旅”、“あの夏に繋がっている”といった歌詞の一つ一つが、今回の特殊な状況下の中でもひたむきに夢を追う高校球児の姿と重なる事から、この度、テーマソングとして選定しました。

### 【小山慶一郎(NEWS)さんからのメッセージ】

『2020年夏季 東・西 東京都高等学校野球大会』のテーマソングに「Endless Summer」を選んで頂きました。

高校野球の監督をしている友人がいるのですが、この夏の甲子園中止を受けて、彼は『選手たちの今までの努力や思いをどう消化してあげればいいのか』と悩んでいました。そんな中で、各地で大会が行われる事が決まり、形は違えど、『3年生達の区切りがつけられるかもしれない』と話していたのが印象に残っています。

今まで甲子園に向けて取り組んできた期間が長ければ長いほど、気持ちの整理をするのに同じくらい時間がかかると思います。

ただ、同じ辛さを味わった、かけがえの無い仲間は一生涯の仲間になると思います。そんな仲間とこの大会を戦い抜いて下さい。そして、夢への扉を開いて、未来へと歩いて行って下さい。今後の人生でもし挫けそうなきがあつたなら、この夏を思い出して下さい。

NEWSの「Endless Summer」が、選手たちの背中を押すことができるよう心から願っています。

### 【楽曲「Endless Summer」について】

「Endless Summer」は、“夏”をテーマにした青春の応援歌。“終わりなき夏”と題した本作は、少年時代の夏を回想しながら、諦めずに夢を追いかける人へ向けた熱いメッセージソングです。2020年夏の高校球児へのエールを込めて、今回新たにレコーディングをした渾身の一曲になっています。

### 【NEWSについて】

小山慶一郎、加藤シゲアキ、増田貴久からなるNEWSは2003年9月に結成。2004年5月に「希望～Yell～」でメジャーデビュー。代表曲は「weeeek」、「チャンカパーナ」、「『生きる』」(※)。現在、アーティスト活動だけではなくドラマ・バラエティ・コメンテーター・小説家・衣装デザインなど、個人としてもそれぞれのフィールドで活躍中の場を広げている。

※「生きる」は鍵括弧付きタイトルの為、『』表記しております。

本件に関するお問い合わせ  
TOKYO MX 編成局 編成部